

私達はコロナという疫病が流行ってから、かれこれ一年以上マスク生活をしている。正直もう飽き飽きしている。旅行に行きたい！テーマパークに行きたい！友達とたくさん遊びたい！アーティストのライブに行きたい！みんなと学校行事を楽しみたい！考えたらきりが無い。今まで当たり前できていたことのほとんどが我慢、我慢である。

日々ニュースを観ていると色んな考え方があってビックリする。

「ずっと家にいるとストレスがたまるとすよね。」（私もたまっているけど我慢してる。）

「俺、コロナかからないんで。」（その根拠のない自信はどこからくるんだろう。）

ひとつひとつにツッコミを入れたくなる。そしてコロナ感染をすり抜けてあちこち出歩いている人も多いようだ。あー、納得いかない。私は行きたいところに行かずステイホームしてるっていうのに。これで自分が感染したら最悪だ！私、かなり我慢しているのに！

「不公平だ！」

ところで、あなたは『平等』と『公平』の違いを知っていますか？

『平等』…かたよりや差別がなく、全てのものが一様で等しいこと。

『公平』…かたよらず、えこひいきのないこと。

一見同じような意味に思えるが実は全然違う。『平等』はスタートラインが一緒に『公平』はゴールラインが一緒というイメージである。例えば、背の高い人・中くらいの人・低い人がいるとする。塀の向こうの景色を観るために『平等』の場合は同じ高さの踏み台が与えられる。当然観える景色は違う。『公平』の場合は背の高さに合わせて違う高さの踏み台が与えられる。観える景色はみんな同じになる。

これをコロナ対策に当てはめてみよう。国は国民みんなにマスクを配布してくれた。欲しい人にもそうでない人にも。また、国民一人ひとりに十萬円の定額給付金を支給してくれた。その日を生きることにさえ困窮している人にもそうでない人にも。みんなに『平等』に。

では、ワクチン接種はどうだろう？現状では【医療従事者など⇒六十五歳以上の高齢者⇒持病がある人、高齢者施設などの職員⇒その他の人】と優先順位が設けられている。これは人々の命を守るための『公平』だ。祖母は六十五歳以上、家族では一番に市からワクチン接種券が届いた。ところがその予約だ。ワクチンが安定供給されていない現状では予約開始と同時に我先にと電話をかけまくり、あちこちの自治体は回線がパンク状態らしい。これではせっかくの『公平』が台無しだ。

何が言いたいのか。『平等』と『公平』のバランスはとても難しい。そして、『平等』は与えられることもできるが『公平』は自分たちの努力や優しさ、物事を見極める力が伴わなければ手に入らないものだと私は思う。コロナ感染者が病院で治療を受ける際、命は『平等』に扱われ、日頃の行いは問われない。大切な生きる権利である。結果は同じ。それならば我慢なんてしなくてもいいじゃないか。するだけ損。そんな気持ちが芽生える。本来なら私から先に治療してほしい。三密を避け、感染症対策をし、できるだけステイホームを心がけているのだから。何もしていない人は自業自得だ。『公平』にしてよ！

しかし、この場合、みんなが努力と優しさ、物事を見極める力を発揮し、『平等』に我慢をしなければ『公平』にはならない。今できることを全力でやる、それが大切だ。私達のゴールは一人ひとりの命を守り、コロナ前の生活を取り戻すことだ。そのために自分勝手な考えは捨て、一人ひとりの意識を変えていかなければならない。私達には未来を守る責任がある。それができるのは自分自身、あなた自身なのだ。